

SDGs未来都市計画進捗評価（案）

愛知県名古屋市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	進捗状況
1	昼間就業者一人当たり市内総生産 【8.1、8.2、8.3、8.5】	2018年度 9,174 千円	2021年度 9,403 千円	2028年度 11,000 千円	C
2	イノベーション創出件数 【4.4、8.1、8.2、8.3、9.5】	2018～2020年度までの累計 608 件	2023年度までの累計(5か年) 1,694 件	2030年度までの累計(12か年) 2,380 件	A
3	主要駅の乗客数 【8.9、9.1、11.2、11.3】	2019年度 107 万人/日	2022年度 91 万人/日	2029年度 115 万人/日	D
4	観光総消費額 【8.9、11.2】	2020年 2,089 億円	未取得	2030年 10,000 億円	
5	温室効果ガス排出量 【7.2、7.3、13.3】	2018年度 1,391 万t-CO ₂	2021年度 1,341 万t-CO ₂	2030年度 1,172 万t-CO ₂	B
6	ごみの処理量 【12.3、12.5、12.8】	2020年度 58.8 万t	2023年度 55.4 万t	2030年度 56.0 万t	A

●成果指標の進捗状況について

成果指標について、2030年度の目標値の達成に向けて、2023年度の実績がどのような進捗状況にあるかを、A、B、C、Dで示しています。

成果指標	進捗状況	基準
	A	各年度の基準値を達成しているもの (各年度の現状値－当初値)／各年度の基準値 \geq 100%
	B	各年度の基準値の50%以上100%未満のもの 100% $>$ (各年度の現状値－当初値)／各年度の基準値 \geq 50%
	C	当初値以上であり、各年度の基準値の50%未満のもの 50% $>$ (各年度現状値－当初値)／各年度の基準値 \geq 0%
	D	当初値を下回っているもの 0% $>$ (各年度の現状値－当初値)／各年度の基準値

(注) 原則として、当初値と2030年度の目標値との直線補間により、各年度の基準値※(当初値との差分)を算出し、上表のとおり判定しています。

※各年度の基準値＝(2030年度の目標値－当初値)×(経過年数／当初値年から2030年までの年数)

●2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況
成果指標の達成状況

分野	進捗状況別 指標数				合計
	A	B	C	D	
経済	1	0	1	0	2
社会	0	0	0	1	1
環境	1	1	0	0	2
合計	2	1	1	1	5

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況 (2022年～2024年)

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2024年目標値	評価
1	イノベーション拠点の運営	拠点におけるイノベーション創出件数	2020年度 46 件	2023年度までの累計(2か年) 54 件	2024年度までの累計(3か年) 120 件	B
2	産業立地促進助成	企業誘致件数	2020年度 8 件	2023年度までの累計(2か年) 21 件	2024年度までの累計(3か年) 45 件	B
3	女性の活躍推進	女性の活躍推進企業認定・認証数	2020年度 155 社	2023年度 245 件	2024年度までの累計 200 社	A
4	イノベーター創出促進	共創イベント等参加者数	2020年度 222 人	2023年度までの累計(2か年) 533 人	2024年度までの累計(3か年) 300 人	A
5	MICE の推進による多様な交流の促進	国際会議の年間開催件数	2019年 252 件	2022年 21 件	2024年 278 件	D
6	ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進企業数	2020年度 188 社	2023年度 277 社	2024年度 240 社	A
7	最先端モビリティ都市の実現に向けた取組	公共交通が便利で利用しやすいと思う市民の割合	2020年度 82.9 %	2023年度 84.9 %	2024年度 85 %	A
8	リニア中央新幹線開業に向けた名古屋駅周辺のまちづくり	公示地価(名古屋駅周辺平均)	2020年1月 4,620 千円/㎡	2023年1月 4,832 千円/㎡	2024年 4,900 千円/㎡	A
9	栄地区まちづくりプロジェクトの推進	久屋大通の再生の進捗度	2020年度 久屋大通南エリアの再整備プラン(案)検討	2023年度 事業化検討	2024年度 久屋大通南エリアの事業化準備	B
10	第20回アジア競技大会の推進	第20回アジア競技大会の認知度	2020年度 22.7 %	2023年度 45.8 %	2024年度 67 %	B
11	中部国際空港の利用促進及び機能強化の推進	中部国際空港の国際線旅客便就航都市数	2020年度 4 都市	2023年度 19 都市	2024年度 40 都市	B

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2024年目標値	評価
12	環境にやさしいエネルギー利用の推進	太陽光発電設備の導入容量	2020年度 250,700 kW	未取得	2024年度 300,140 kW	
13	低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルの推進	環境行動促進アプリのダウンロード数	2020年度までの累計 3,741 件	2023年度までの累計 6,416 件	2023年度までの累計 20,000 件	C
14	緑に親しめる環境づくり	新たに確保された緑の面積	2020年度 52 ha	2023年度 (2か年) 105 ha	2024年度 (3か年) 120 ha	A
15	生物多様性の保全と持続可能な利用の推進	暮らしの中で生物多様性に配慮した行動をしている市民の割合	2020年度 55.3 %	2023年度 51.0 %	2024年度 57 %	D
16	健全な水循環の確保	水循環について知っている市民の割合	2020年度 45.0 %	2023年度 44.0 %	2024年度 50 %	D
17	3Rの推進	ごみの処理量	2020年度 58.8 万トン	2023年度 55.4 万トン	2024年度 58 万トン	A

● 成果指標の進捗状況について

成果指標について、2024年度の目標値の達成に向けて、2023年度の実績がどのような進捗状況にあるかを、A、B、C、Dで示しています。

成果指標	進捗状況	基準
	A	各年度の基準値を達成しているもの (各年度の現状値 - 当初値) / 各年度の基準値 $\geq 100\%$
	B	各年度の基準値の50%以上100%未満のもの $100\% >$ (各年度の現状値 - 当初値) / 各年度の基準値 $\geq 50\%$
	C	当初値以上であり、各年度の基準値の50%未満のもの $50\% >$ (各年度現状値 - 当初値) / 各年度の基準値 $\geq 0\%$
	D	当初値を下回っているもの $0\% >$ (各年度の現状値 - 当初値) / 各年度の基準値

(注1) 原則として、当初値と2024年度の目標値との直線補間により、各年度の基準値※(当初値との差分)を算出し、上表のとおり判定しています。

※各年度の基準値 = (2024年度の目標値 - 当初値) × (経過年数 / 3)

(注2) 目標値を3か年の累計としているものは、当初値を0として計算しています。

● 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況
成果指標の達成状況

分野	進捗状況別 指標数				合計
	A	B	C	D	
経済	3	2	0	1	6
社会	2	3	0	0	5
環境	2	0	1	2	5
合計	7	5	1	3	16